

核兵器は、もたず、つくらず、もちこませず

非核三原則を守り、核兵器禁止条約に参加する政治を

人類滅亡までのカウントダウン

「終末時計」 のこり85秒



1月27日、人類滅亡までの時間を示す「終末時計」が残り85秒になったと発表されました。人類破滅への強い警告となっています。

核兵器禁止条約に
参加する日本の実現を

私たちの選択で

核軍縮の気運後退、ウクライナや中東での武力衝突、AI（人工知能）の軍事利用を巡る懸念、地球温暖化などが人類への重大な脅威だ。

苦勞して築き上げてきた国際的な理解は崩壊しつつあり、勝者総取りの大国間競争が加速している。

アメリカやロシア、中国など核保有国が権威主義的な振る舞いを続け、核兵器使用のリスクが高まっている。

終末時計？

米科学誌「ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト（原子力科学者会報）」が1947年から発表しています。

核戦争などで人類が絶滅（ドゥームズ・デイ）の時を「午前0時」とし、人類に残された時間をあらわしています。

1947年7月の開始時は残り7分。今年は過去最短です。



「国際法は私には必要ない」とすら口にする米国トランプ大統領、ウクライナ侵略が5年目を迎えるロシア、そしてガザでの虐殺を続けるイスラエル。中国もその核兵器の数を増やし続けています。スウェーデンの研究所は、全世界の核兵器の数は1万2241発と推計しています。核大国は核兵器を振りかざし、力で支配しようとしています。それは、なんの罪もない犠牲者を生み出すだけです。核兵器では、私たちの命も安全も守ることはできません。

「核兵器の持ち込みは認めてもいいのではないか」、「核保有も認めていいのではないか」という声が、高市首相をはじめ、自民・維新政府の中から聞こえてきます。人間として生きることすら死ぬことも許さない核兵器の非人道性をしらないのでしょうか。核兵器禁止条約に日本も参加し、その先頭に立つよう、ごいっしょに求めて参りましょう。非核三原則を守り、核兵器禁止条約に参加し促進する政治へと、私たちが変えていきましょう。

(2026年2月)

日本政府に
核兵器禁止条約の
署名・批准を求める
署名二次元コード



国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）

〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4 平和と労働センター6階

TEL 03-5842-6031 HP: <http://www.antiatom.org> E-mail antiatom55@hotmail.com